

政治決断のとき

「原発なくせ」の運動が空前の規模に発展しています。原発事故の深刻な実態、被害が拡大しつづける福島の実情が

世論を大きく変えました。「原発ゼロの日本」への政治決断を、今この声を大きくあげるときです。

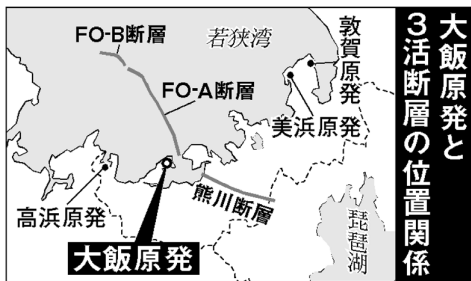
大飯原発 再稼働の無謀

政府、関西電力は東京電力福島第1原発事故の原因の究明が終わっていないのに、大飯原発（福井県おおい町）を再稼働させました。

5日、公表された国会の福島原発事故調査委員会の報告書は「重要な点において説明されていないことが多い」と、今後の実証的な検証・調査を求めています。

政府は30項目の安全対策を求めたとしています。しかし、免震事務棟（2016年3月までに完成）など、時間のかかる対策は先送りしても構わないという対応です。その間に重大事故につながる地震や津波が来ないという保証はありません。

大飯原発がどのような地震や津波に襲われるのか。最近、全国の大飯で従来の活断層の評価が覆り、大飯



対策先送り 危険な断層 規制機関なし 再び大事故も

原発周辺の複数の断層が運動した場合の揺れが、基準を上回る計算結果が出ています。

さらに大飯原発敷地内に破碎帯（断層）が動く可能性を東洋大学の渡辺満久教授（変動地形学）らが指摘しています。断層が重要構造物である非常用取水路を横切っており、動けば深刻な被害をもたらすとされています。

原発をともに規制する機関がないと指摘されています。「事故は人災」と断じた国会事故調の報告書には「規制する立場とされる立場の『逆転関係』が起きて、『原子力安全』についての監視・監督機能が崩壊していた」と結論づけました。規制機関のあり方が抜本的に問われているのに、経済産業省原子力安全・保安院など問題を指摘された組織は今も続いています。

福島第1原発事故を踏まえた被害想定もされておらず、周辺住民の避難対策が整備される見通しも立っていません。このような状況で再稼働を強行することは再び「人災」を繰り返すことになりかねません。

福島第1原発 最悪の事故



水素爆発によって崩壊した建屋上部の残骸が散乱する東京電力福島第1原発4号機の5階スレッシュヨンプラ。7月11日までには撤去されました。5月26日、福島県大熊町

炉内いまだ不明

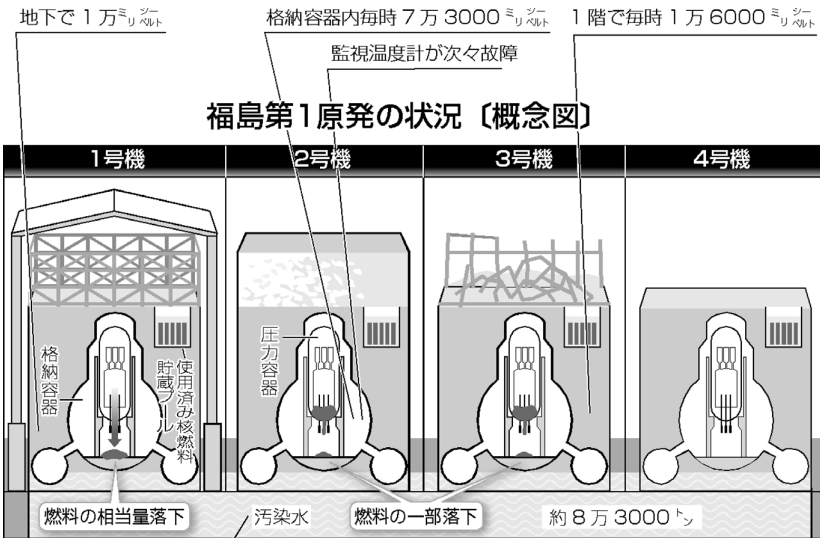
減らない 高放射能汚染水

東京電力福島第1原発（福島県大熊町、双葉町）は昨年3月11日の地震と津波で、運転中だった1、3号機が全電源喪失から炉心溶融に至り、放射性物質を大量に外部へ放出するという史上最悪の原発事故を引き起こしました。放射性物質の放出は今も続いています。1、3、4号機では原子炉建屋内に水素が充満して爆発し、折れ曲がった鉄骨やコンクリートの残骸がむき出しとなりました。

溶けた燃料が原子炉格納容器内に落下した1、3号機では、壊れた原子炉格納容器から燃料を冷やすために原子炉圧力容器へ注ぎ込んでいた水が原子炉建屋やタービン建屋の地下へ漏れ出しています。原子炉建屋内には人が立ち入れないほど猛烈な放射線量が計測される状況が続いており、30、40年後をめどとしている廃炉作業の見通しは不透明です。

漏れ出した高濃度放射能汚染水の処理も深刻な状況です。東電は汚染水を海へ流出させる事故を起こした後、昨年6月から汚染水から放射性物質の一部を除去して再び圧力容器に注水する循環注水冷却を行っています。装置からの汚染水漏れが頻発、地下水の流入が続いていることもあって汚染水の量は一向に減っていません。処理後の廃液などを貯蔵しているタンクは福島第1原発構内に埋め尽くされています。

温度計の故障が相次ぎ、原子炉内の状況はますます分かりにくくなっています。1、3、4号機の原子炉建屋には大量の使用済み核燃料が入ったプールがあり、今後の地震などによる影響が心配されています。

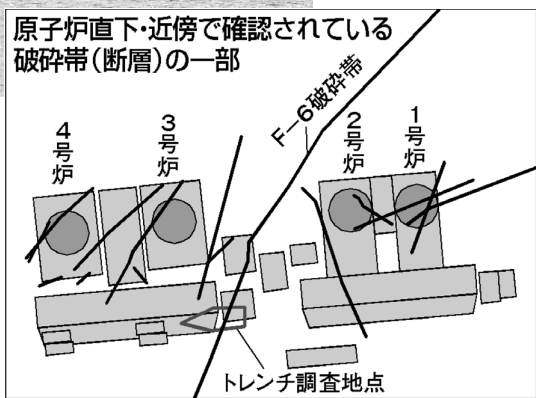


このほか、集中廃棄物処理建屋に約1万9000トンの汚染水、タンクに処理廃液など約17万トンの汚染水が貯蔵されています。

原発のいま



福井県おおい町の関西電力大飯原発。右から3号機、4号機の手前は福井県の小浜湾



「しんぶん赤旗」とともに65年

あかつき印刷株式会社

本 社 東京都渋谷区千駄ヶ谷四丁目2-1 TEL:03-3497-1031 FAX:03-3497-1032
 九州支店 福岡県福岡市東区支那橋1丁目1-1 TEL:092-716-1611 FAX:092-716-1612
 東北支店 岩手県北上市上野七丁目1-1 TEL:0192-337-7771 FAX:0192-337-7772

広告宣伝物全般の企画・制作

ALPHA

株式会社 **アルファ・デザイン**

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷一丁目1-1 TEL:03-3575-0085 FAX:03-3575-0082

脱原発 自然エネルギーへの転換を

株式会社 **関西共同印刷所**

〒531-0076 大阪府北区大淀中3-1-55
 電話:06-6445-2564 FAX:06-6445-2498

より良い社会をめざして

クロスメディア総合宣伝センター

株式会社 **きかんし**

〒135-0053 東京都江東区辰巳二丁目1-1
 電話:03-5553-1134 FAX:03-5553-1135

迅速・正確・安全に安定した輸送

株式会社 **教宣文化社**

〒176-0022 東京都練馬区豊玉北二丁目1-1
 電話:03-3994-6103 FAX:03-3994-6149

クロスメディア時代をリードする

株式会社 **光陽メディア**

東京都新宿区築地町8 TEL:03-3260-9131

デザインプロフェッショナルグループ

株式会社 **ダニエール**

〒100-0005 東京都千代田区有明3丁目1-1
 TEL:03-5561-1111 FAX:03-5561-1112

東海・北陸の「しんぶん赤旗」印刷を担う

株式会社 **中部共同印刷**

〒485-0818 愛知県小牧市小牧南三丁目10番地
 TEL:0568-771011 FAX:0568-771012

新聞用紙、出版印刷用紙、合成紙

東芳紙業株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田小川町三丁目10
 電話:03-3339-9331 FAX:03-3339-7570

人をつなげる。夢をひろげる。

株式会社 **北海道機関紙印刷所**

札幌市北区北六条西七丁目 TEL:011-766-6141
 www.hki.co.jp